

麻生町報

発行所
麻生町42番地
麻生町役場
発行人
高野勝
印刷所
麻生印刷所

麻生町長選挙 永作実氏当選

補欠議員三名も決まる

二月二七日行なわれた麻生町長及び麻生町議会議員補欠同時選挙は、永作実氏が次点小沼幸蔵氏を一票の差で引きはなし当選。また補欠議員は永作利雄氏、額賀万寿男氏、奈良崎新一氏が当選しました。同日付で告示、翌二八日当選証書付与、三月十四日付で効力が確定しました。

町長選挙
当選 永作実 五、〇八四票
小沼幸蔵 五、〇三三票
山野健一 四、一四四票
前川平蔵 二、二二二票
町議会議員補欠選挙得票
当選 永作利雄 三、四〇〇票
額賀万寿男 三、九九〇票
奈良崎新一 三、七九〇票
尾崎海治 八、八元票
無効投票数 九一票

麻生町長選挙の投票率は別掲のとおりです。
議会議員補欠選挙の投票率は
91.3%
麻生第二、三投票区は最高

麻生町選挙投票状況調

投票区別	投票数	投票率 (%)		
		男	女	計
麻生第一投票区	875	93.5	90.1	91.7
〃 二	1,138	94.4	92.4	93.4
〃 三	1,056	93.0	93.7	93.4
〃 四	170	94.3	87.9	90.9
太田第一	723	92.7	88.2	90.3
〃 二	423	89.4	92.5	91.0
大和第一	864	79.4	96.5	88.3
〃 二	837	91.6	92.7	92.2
〃 三	664	91.5	93.1	92.4
〃 四	428	88.9	86.2	87.5
行方第一	852	88.5	88.1	88.3
〃 二	582	93.2	91.8	92.4
小高第一	923	90.4	91.2	90.8
〃 二	781	93.9	91.7	92.8
〃 三	328	89.9	95.1	92.7
計	10,644	90.89	91.67	91.30

年金保険料第4期
今月は4期の納期です。めから組合長さんにお願いで、特にお急ぎください。期が本年の1、2、3月分とあわせて納付完了します。ようにお願ひし

東統合中第二期工事 近々完成

東統合中学校第二期工事は、昨年八月三十一日着手、上羽建設により建設中であります。が、写真のように(三月六日現在)約97%完工、この町報が皆様のお手もとにと



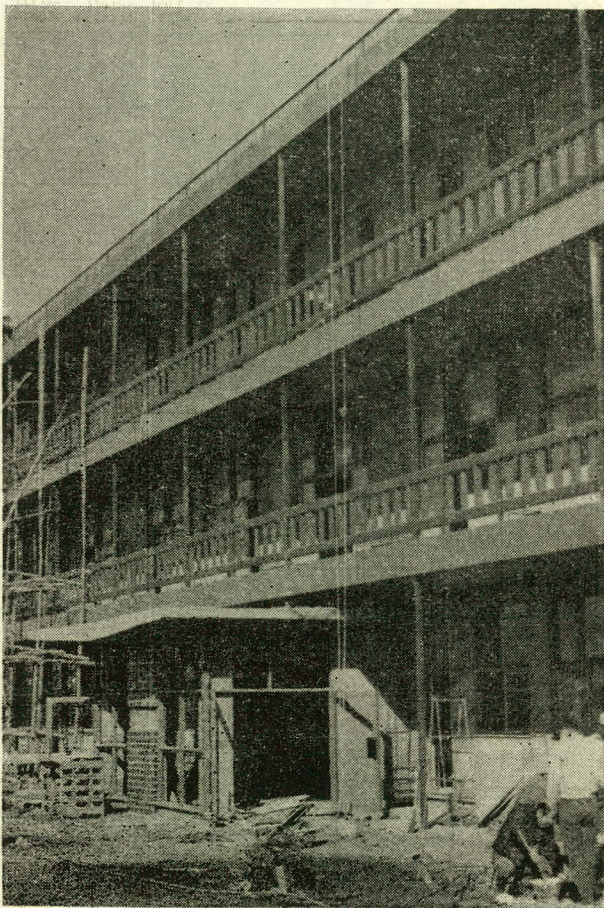
麻生町長 高野勝

し引続いて八年間、町行政の執行の任に当つてまいりました。

その間、教育施設の充実、道路の改良整備、産業の振興育成、国保事業の推進、社会福祉に関する事業、消防機関の改善、施設の整備、観光事業等に微力を捧げて、皆様方の御期待に対し満足とは申せませんが、なほどうかの成果をおさめ大過なく後任者に引き継ぐことが出来たことは、皆様方の深い御理解と御厚情によるものでありまして、離任に当りまして衷心より敬意と感謝を申し上げるものであります。

昭和三十年三月三十一日麻生、太田、大和、行方、小高の旧町村が地方行政の適正な規模による住民福祉を増進する目的から大同合併いたしましたことは、麻生町の歴史を将来に飾るものでありましよう。

その初代町長として、町民の皆々様の絶大な御支援のもとに就任いたし、更に昭和三十四年三月二十日再選の栄に浴



県議会議員選 の補充名簿

来る四月十七日に行なわれる県議会議員選挙における補充選挙人名簿調製については、次のようになる模様です。
調製現在期日 四月三日
申請期間 四月四日から四月七日まで
縦覧及び異議申出期間 四月十一日から四月十三日まで
異議の申出に対する決定期限 四月十四日
確定期日 四月十五日
この申請方法等については、区長さんを通じて御連絡申しあげます。

被保険者証 かきかえ

現在使用している被保険者証は、諸種の都合により三月三十一日限りで無効になります。新しい被保険者証が四月一日を期し県下一斉に交付されることになりました。本町では各区長さんを通じて新旧被保険者証の引かえをすることに なりますから、必ず旧被保険者証の提示に御協力をおねがひいたします。

国民年金 昭和36年度 未納保険料

このほど水戸社会保険事務所長から納付催告書が届いたこと、おめでとうございます。該当された方々はこの機会に納付してください。参考までに申し上げますと旧年度(昭和36年度)の保険料は直接町役場で取扱うことができないしくみになつていて直接国が徴収するので、今回の催告書が発行された訳です。したがって、未納のまゝおきますと書状に記すされておられると処分を受けることにもなる訳です。納付書は役場に備付けてありますから役場まで来ていただければ、その後の手続はみなさんの利便を考慮して処理できますから早目に年金係に申出てくだい。

住民登録

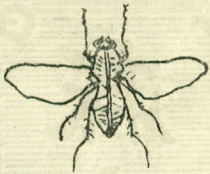
住民登録という制度は市町村の住民であることを公に証明するために、住民票というカードに皆さん方の本籍や住所氏名、生年月日等を記載して置きこの住民票によつて、いろいろな行政上の処理を適正に行うためと、皆さん方の日常生活の利便を図る目的で設けられたものであります。住民登録について届出をしな

2月末日人口

	男	女	計	世帯数
麻生地区	2,754人	2,986人	5,740人	1,219
太田地区	1,100	1,140	2,240	398
大和地区	2,512	2,723	5,235	915
行方地区	1,264	1,394	2,658	503
小高地区	1,806	1,887	3,693	679
計	9,436	10,130	19,566	3,714

☆3月のこよみと行事☆

- 2日 議員協議会
- 3日 ひなまつり、耳の日
- 4日 貸付調査委員会、鹿行配給主任者会議
- 5日 選挙管理委員会、管内校長会
- 6日 病虫害防除器具講習会
- 7日 消防記念日(昭和23年消防の仕事が警察から切りはなされて、自治体消防の仕組みができたことを記念した日です)
- 年金打合せ
- 12日 定例議会
- 13日 戸籍互審会
- 15日 個人所得確定申告〆切日
- 16日 年金事務研究会
- 18日 彼岸の入
- 19日 中学校卒業式
- 20日 高校入試発表
- 21日 春分の日
- 22日 小学校卒業式、放送記念日
- 23日 農事研究会役員会
- 26日 農業委員会
- 27日 畜産研究会
- 29日 地籍実施委員会



ハエの駆除

発生源の除去

- 1、便所 ハエの出入ができないようにする。汲取口のまわり1.5m位をコンクリートにする。
- 2、ゴミ箱 完全なふたをつけ、黒塗りにする。
- 3、厨芥の処理 台所のゴミ、野菜屑、食べ残りなどは、ねずみ防止を兼ねて、完全なフタのあるホーロー引きなどの水の通らない入れ物に始末する。
- 4、肥溜 完全なフタをする。少しの隙間でも駄目だから、むしろなどをはさんでハエが入れないようにする。できれば周囲1.5m位をコンクリートにする。
- 5、推肥 タタキにして、むしろで覆いをする。
- 6、畜舎 牛馬舎は週一回敷藁を取りかえる。鶏舎は毎日掃除する。
- 7、下水溝 ドブ掃除は週一回行なう。

成虫(ウジ)とサナギの除去

- 1、便池 週一回薬剤か熱湯で便池の内外のウジを殺す
- 2、発生源 便池、肥溜、ゴミ溜、堆肥場などウジの発生場所のまわり1m位のところを30cm位掘り返すとサナギがでてくるから、薬剤で殺すか焼き殺すか、または60cm以上の穴に埋める。

成虫の駆除

- 1、越冬バエ 家バエは成虫のままで冬を越すから、絶えまなく殺すことが大切である。
- 2、残留噴霧 家屋や畜舎には残留噴霧を行う。これは最も効果的な方法である。DDT、DDVP 混合乳剤の20倍液を1坪当り1合を天井板にふきかける。
- 3、網のれんとテープ。テープ(50cm×3cm)や網に混合乳剤10~20倍液を浸透させ1m² 当り1本の割合で住宅、畜舎に吊しておくこと。



蚊の駆除

発生源の除去

蚊もハエも発生源対策を怠つてはどんなに努力しても効果はあがりません。

～第一に発生源、第二に薬済を念頭に～

- 水溜りの排除 水の無いところに蚊は発生しないから水といつたら蚊がいるといつて差しかえない。
- a 空ビン、空カン、茶ワンのかけらを整理する。
 - b 用水、手洗鉢は週一回水を取りかえる。
 - c 池や水溜には噴水などで波立たせ、また魚を飼うと効果がある。
 - b 墓地 花立、水ばんには砂や小石を入れポーフラをわかさない。
 - e 墓地や山間の湿地には、ヤブ蚊が発生するから、下草を刈り取り乾燥させる。整地や埋立をして湿地をなくする。
 - f 溝、川、池、垣根、立木、下草や雑草を刈り取る。
 - g 竹やぶ、竹の切り株は蚊の絶好の棲息地であるから、竹を伐り水が溜らないようにし、また枝払い下草の刈り取りをし、通風をよくする。

住みよい生活

ハエ退治 ふえないうちに

ハエや蚊の駆除は今から始めて下さい。

早いうち退治すれば少ない経費で大きな効果があります。

h その他 なくすることのできない水溜りに薬済を散布する。

幼虫及びサナギの駆除

- 1' 発生源 水溜りをなくすることが先決である。ポーフラは約10日で成虫になる。

成虫の駆除

- 1、屋内、壁、天井、くらい所、納屋、流し元、床下などへ混合乳剤20倍液を散布する。
- 2、屋外、下水溝、溝フタの裏、竹やぶ、石垣の穴へ薬剤をまく。

越冬蚊の駆除

蚊の越冬場所は、肥溜、溜り水、防火用水、手洗水、墓地の花立、水ばん、空カンなどで比較的大きな水域は余り越冬しない。殺虫剤の散布は三月初旬から始めるのが効果的である。

のみの駆除

発生源

畳下、床下、動物の糞など、ゴミの溜つたところに産卵し、幼虫はゴミや土の中で餌をとり、数週間でまゆを作りサナギになる。サナギは1~2週間で成虫となる。

駆除法

発生源を掃除する。床下のやわらかい土を取り除けば殆んどいなくなる。

種類

ヒトノミ 主に人家で繁殖 人血を吸う
イヌノミ 動物にたかる
ネズミノミ 動物にたかる
ネコノミ 人の血も吸う

ペストや発疹熱を媒介する



シラミの駆除

駆除法 シラミの卵は一週間でかえり幼虫となり、すぐ血を吸い始め、三回脱皮して1~2週間で成虫となる。

駆除法は、衣類寝具頭髪には粉剤(ダイアジノン)を用いる。この場合成人の着衣(1人分)につき75~100gを使用する。衣類は蒸気消毒が確実な方法である。

種類 コロモジラミ(キモノジラミ) アタマジラミ、ケジラミの三種類があり、発疹チブスなどの伝染病を媒介する。



ブユの駆除

ブユは早春から晩秋にかけて農作業

時になやまされる害虫で、特に朝夕や天気のかわり目に刺す。幼虫は流水中に棲息し、メスの成虫だけが産卵のため吸血する。メスは吸血後7~10日で水流にそつて生えている草や小石に産卵する。幼虫は1分間に10m以上の急流で川巾5m以下の流水中、水面下10cm以内の水草や石木片などに吸着している。

駆除法 水量の5万分の1~10万分の1の乳剤(DDVP5%、DDT20%)をまくと500~1000mの下流まで効果がある。

水量の計算方法は 川巾×深さ×1分間の流速、流速の計り方は、上流でモミガラを浮かせ10m下流まで流れる時間を計ればよい。

殺虫剤の散布基準

対象害虫	薬剤名	散布基準		散布間隔	散布場所
		稀釈倍数	1m2当り散布量		
ウジ	DDVP、DDT混合乳剤	400倍	2リットル	15日に1回	便所、堆肥場、畜舎、ゴミ捨て場
ポーフラ		水量の1/5万~1/10万		15日に1回	下水溝、水溝池沼、水田
ハエ		20倍	50cc	1ヶ月に1回	天井、壁、畜舎、居室、居間のうす暗い所、タンスの後側等
蚊					板、壁、柱等の隙間、夜具
南京虫					天井裏、押入の隙間等ネズミのいる所
イエダニ	マラソン粉剤	11m2当り15g		春秋2回又は3ヶ月に1回	畳下、床下
ゴキブリ		成人一人の着衣につき75~100g		15日に1回	下着、寝具
ブユ		水量の1/5万~1/10万		20~30日に1回	小川

殺虫剤の使い方

殺虫剤は使い方を誤ると、効果が半減する。例えば、粉剤を便所やドブに散布するのは薬剤が大量に不経済である。

殺虫剤の種類 殺虫剤の種類は非常に多く、選択になやむが近頃は、すぐれたものが市販されている。また卓効を喧伝されていた殺虫剤の中に抵抗性を生じたものがあるので注意を要す

塩素系 DDT残留効果が永いのが特徴

リンデン DDTより速効 デイルドリン ゴキブリ(アブラ虫)に特効 クロルデン 毒性が強くゴキブリに特効 オルソ剤 残効性が極めて短い。消毒薬である。

燐系 デイブテックス 人畜に低毒でマラソンより速効性であるが、残効性はDDVPより長い。マラソン イエバエに対しては遅効性であるが、シラミ、ノミにはよく効き、家畜に対する直接散布が許可されている。20%乳剤を40~100倍にして使用する。

DDVP 極めて速効性、微量で効くが揮発性が早い。残効性は7~10日位である。ダイアジノン 速効性であるがDDVPよりは遅い。すぐれた殺虫剤である。

殺虫剤の使い方

油剤 屋内むきでそのまま使用する。
粉剤 広汎な地域で使用する。水和剤 屋外むきで水でうすめて使う。乳剤 屋内屋外に適する。

注意 DDVP5%とDDT20%混合乳剤は屋内屋外どちらにも使用して差つかえない。
うすめる場合には一度にうすめないで徐々にうすめることが大切である。
(イ) 屋外、ゴミ捨て場、便所、堆肥場、畜舎、ドブなどに400倍液にして1坪当り約3升を散布する。
(ロ) 屋内 天井やカベなどに20倍液にして吹きつける。この場合量を裏返しにしておくとノミにも効く。
(ハ) 粉剤は主として畳下に使用するが家畜には最も適している。

